

ゆりがご 園だより

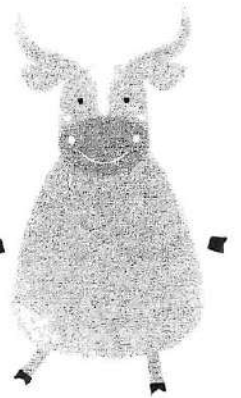
4期の
ねらい
・表現活動を通して心を育てよう
・卒園・進級を期待しよう

あけまして
おめでとう
ございます

健康で笑顔いっぱい

一年になりますように！

2021・1・1



2020年、誰も想定していなかったであろう新型コロナウイルスの感染拡大、世界中がこの非常事態に脅威と不安を感じながら日々暮らしてきました。「緊急事態措置」「登園自粛要請」と、初めての経験をし、混乱はありながらも「新たな生活様式」と向き合い生活してきました。

2021年はどんな年になるのでしょうか？子どもたちが送る園生活がかけがえのないものとなる。そんな一年になってほしいと切に願います。

昨年、開催を断念せざるを得なかったイベントがたくさんありました。在園家庭だけでなく、卒園家庭や地域の方々に喜ばれていたバザーや夏まつり、大人同士がつながり交流を深める機会となっていた、父母の会主催の歓迎会やクラス交流会、おやじの会主催のあつかんパーティーなどが次々と中止になり、子どもも大人もがっかりしました。

当たり前のように行っていた保育活動がコロナ禍で窮屈になったものに「スキミング」があります。札幌市からの通知には、これまでのような子どもの手による作業は「基本的には行わないことが望ましい」とあり、園の判断で行う場合は、「おしゃべりをしない」「食べる時はソーシャルディスタンスを保つ」といった「それは無理でしょ」と思う遵守項目があり、「スキミング」ならぬ「ルッキング保育」とリスれてきました。子どもたちが畑で育てた野菜を保育士が言理するのを「ルッキング」し、味わうことで食への関心も高まり、苦手なものも皆と一緒に美味しく感じる事ができました。

先日は、1キ児クラスが散歩で見つけた松ぼっくりを「松ブロッコリー」と子どもが発したこと、ブロッコリーを炒める様子を「ルッキング」し、翌日は松ぼっくりでクリスマスツリーを作っていました。ルッキングの日、楽しそうな声に誘われ様子を見に行ったら私が、「いい匂いだねえ」とマスクのゴムを伸ばして匂いをかいだところ、「せんせー、マスク取ってクンクンしなよ〜」とIちゃんに言われました。1キ児でも、匂いを感じるにはマスクを外した方が良いとわかっているのです。

今年もマスクが欠かせない生活になりそうですが、五感で感じる経験を大切にしながら、マスクと上手に付き合っていきたいものです。